

債権譲渡承諾依頼書

年 月 日

(発注者) 御中

(甲) 債権譲渡人
所在地
商号又は名称
代表者職氏名

工事請負
契約書の
使用印

(乙) 債権譲受人
所在地
名称 株式会社 きらぼし銀行
代表者職氏名

実印

(担当者) 職・氏名

T E L

債権譲渡人(委託者、以下「甲」という。)は、江戸川区(以下「区」という。)との間で締結された下記工事請負契約(以下「工事請負契約」という。)に基づく下記譲渡対象債権を、債権譲受人(受託者、以下「乙」という。)に、甲と乙との間で締結された 年 月 日付け信託契約に基づき信託譲渡することになりましたので、工事請負契約書第5条第1項ただし書に規定する承諾をいただきますよう依頼します。

また、下記譲渡対象債権の支払につきましては、後日通知する振込口座にお振込みくださいますよう依頼します。

なお、工事請負契約上の請負者の債務は、甲に留保されていることを申し添えます。

記

1 譲渡対象債権

譲渡される甲の工事代金債権は、本件請負工事が完成した場合において工事請負契約書第26条第2項の検査に合格し、引渡した既済部分に相応する請負代金額から既に支払を受けた前払金、中間前払金、部分払金及び工事請負契約(以下「請負契約」という。)により発生する区の請求権に基づく金額を控除した額の全額とします。ただし、請負契約が解除された場合においては、工事請負契約書第39条第2項の既済部分の検査に合格し、引渡した既済部分に相応する請負代金額から既に支払を受けた前払金、中間前払金、部分払金及び請負契約により発生する違約金等の区の請求権に基づく金額を控除した額の全額とします。

- (1) 契約番号 _____
- (2) 工事件名 _____
- (3) 工事場所 _____
- (4) 契約締結日 _____ 年 月 日
- (5) 工期 _____ 年 月 日から _____ 年 月 日まで
- (6) 請負代金額 金 _____ 円〔申請日現在〕
- (7) 支払済前払金額 金 _____ 円
- (8) 支払済中間前払金額
及び部分払金額 金 _____ 円
- (9) 債権譲渡額 金 _____ 円〔申請日現在見込額〕

((9) = (6) - (7) - (8))

なお、契約変更により請負代金額に増減が生じた場合には、(6)及び(9)の金額は変更契約後の金額とします。この場合、甲及び乙は、速やかに工事代金債権計算書を区に提出します。

2 甲は、上記工事の譲渡対象債権について、譲渡、差押、質権の設定その他の権利の移動又は設定等がなされていないことを申し添えます。

- 3 甲及び乙は、譲渡対象債権について、他の第三者に譲渡し、又は質権を設定し、その他債権の帰属及び行使を害する行為は行いません。
- 4 甲の下請企業等の保護に関しては、甲が責任を持って行い、区には一切ご迷惑をお掛けいたしません。
- 5 甲及び乙は、本債権譲渡が、甲の当該工事の施工に必要な資金の調達又は甲の下請企業への適切な支払の確保を目的としたものであることを前提に、区が本債権譲渡を承諾するものであることを承知しております。
- 6 甲乙間の取引に関し必要な既済部分の確認は、甲及び乙が責任を持って厳正に行います。
- 7 甲及び乙は、工事請負契約に基づき区が行う既済部分の査定結果については、一切異議を申し立てません。
- 8 債権譲渡の承諾を得た後は、譲渡対象債権の請求は乙が行い、甲は一切の請求を行いません。
- 9 上記のほか、甲は工事請負契約書の条項等を遵守します。
- 10 本件に関する乙の連絡先及び担当者

所 属 _____

職・氏名 _____

T E L _____

第 号
年 月 日

(甲) _____ 御中

(乙) 株式会社 きらぼし銀行 御中

債権譲渡承諾書

上記の譲渡対象債権の譲渡承諾依頼については、工事請負契約上有する一切の抗弁をもって乙に対抗できる旨及び下記事項について異議を留めて、工事請負契約書第5条第1項ただし書の規定により承諾します。

なお、本承諾により、工事請負契約に基づく甲の責任が一切軽減されるものではないことを申し添えます。

記

- 1 乙は、譲渡対象債権を第三者に譲渡し、又はこれに質権を設定し、その他債権の帰属及び行使を害すべきことをしてはならない。
- 2 発注者が支払う請負代金額は、発注者の検査結果のみに基づいて決定される。
- 3 発注者は、債権譲渡後も、甲との協議のみにより、工期の変更、契約金額の変更その他契約内容の変更を行うことがあり、この場合、乙は発注者に対して異議を申立てないものとし、当該契約の変更により、譲渡対象債権の内容に影響が及ぶ場合には、もっぱら甲と乙との間において解決されなければならない。
- 4 甲及び乙は、上記債権譲渡承諾依頼書記載の事項を遵守すること。

発 注 者 _____ 印

確定日付印欄	
--------	--

工事履行報告書

工 事 件 名			
工 期	年 月 日	~	年 月 日
請 負 金 額	金 円		
支 払 済 前 払 金 等	前払金額	金	円
	中間前払金額	金	円
	部分払金額	金	円
	計	金	円(請負代金額に対する割合 %)
日 付	年 月 日 (月分)		
月 別	予定工程 (%) ()は工程変更後	実施工程 (%)	備 考
年 月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
月		差 ()	
(記事欄)			

(備考) 必要に応じて適宜項目を加除して使用するものとする。

下請負人に対する支払計画書

年 月 日

(発注者) _____ 御中

請負者
所在地

名称

代表者職氏名 _____ 印

工事件名 _____

契約金額 _____

債権譲渡により得られる資金は、今後、上記工事の履行に関して、以下の下請負人に対する支払に利用する予定です。

整理番号	支払予定額			支払先	
	月旬	金	額	(名称/所在地/電話)	
			千円	(名称)	
				(所在地)	
				(電話)	
				中小企業である	中小企業でない
			千円	(名称)	
				(所在地)	
				(電話)	
				中小企業である	中小企業でない
			千円	(名称)	
				(所在地)	
				(電話)	
				中小企業である	中小企業でない
			千円	(名称)	
				(所在地)	
				(電話)	
				中小企業である	中小企業でない
			千円	(名称)	
				(所在地)	
				(電話)	
				中小企業である	中小企業でない

(注意)

「今後支払予定額」欄の「月旬」部分は、以下の区分によりご記入ください。

上旬：1日～10日 中旬：11日～20日 下旬：21日～月末

「支払先」では、支払先が中小企業基本法第2条に定める中小企業者である場合は「中小企業者である」欄に を、そうでない場合は、「中小企業者でない」欄に をしてください。

委 任 状

年 月 日

_____(発注者) 御中

所在地
商号又は名称
代表者職氏名 _____ 印

1 工 事 件 名 _____

2 請負代金額 金 _____ 円

私は、所在地
商号又は名称
代表者職氏名

を代理人と定め、上記工事の請負契約に係る工事代金債権の債権譲渡承諾依頼書の提出に関する権限を委任します。

譲渡人が委任者の場合、印は使用印も可とする。

譲渡人がJVの場合は代表構成員の名義で行うものとする。

工事出来高確認協力申出書

年 月 日

（発注者） 御中

所在地
名称 株式会社 きらぼし銀行
代表者職氏名

実印

年 月 日付け 第 号にて債権譲渡を承諾された下記工事について、信託契約に基づき、同工事の出来高を確認する必要があります。

つきましては、同工事の出来高確認を行うために、工事現場への立入りについて協力いただきますようお願いいたします。

記

- 1 工 事 件 名 _____
- 2 工 事 場 所 _____
- 3 請 負 者 _____
- 4 現場立入り希望日時 _____ 年 月 日 時 分 から 時 分まで
- 5 現場立入り予定者氏名

- 6 連 絡 先 担当者職・氏名 _____
T E L _____

工事代金債権計算書（契約変更用）

年 月 日

（発注者） 御中

債権譲渡人
所在地
商号又は名称
代表者職氏名

工事請負
契約書の
使用印

債権譲受人
所在地
名称
代表者職氏名

実印

（担当者）職・氏名

T E L

年 月 日付けで協議を受け、承諾した下記1に記載する工事の契約変更により、工事代金債権が下記5のとおり変更されたので提出します。

記

- 1 工 事 件 名 _____
 - 2 契 約 締 結 日 _____ 年 月 日
 - 3 債権譲渡承諾日 _____ 年 月 日
 - 4 契約変更承諾日 _____ 年 月 日
 - 5 工事代金債権
 - (1) 当初請負代金額 金 _____ 円
 - (2) 支払済前払金額 金 _____ 円
 - (3) 支払済中間前払金額
及び部分払金額 金 _____ 円
 - (4) 当初債権譲渡額 金 _____ 円
 - (5) 契 約 変 更 額 金 _____ 円（減額の場合は、表示とする）
 - (6) 債 権 譲 渡 額 金 _____ 円（ 年 月 日現在見込額）
- （(6) = (1) - (2) - (3) + (5)）

工事代金債権計算書（契約解除用）

年 月 日

（発注者） 御中

債権譲渡人
所在地
商号又は名称
代表者職氏名

工事請負
契約書の
使用印

債権譲受人
所在地
名称
代表者職氏名

実印

（担当者）職・氏名

T E L

下記1の工事に関し、 年 月 日付け 第 号に基づく解除により、工事代金債権が下記5のとおり変更されたので提出します。

記

1 工 事 件 名 _____

2 契 約 締 結 日 _____ 年 月 日

3 債権譲渡承諾日 _____ 年 月 日

4 契 約 解 除 日 _____ 年 月 日

5 工事代金債権

(1) 当初請負代金額（契約解除日現在） 金 _____ 円

(2) 支払済前払金額（債権譲渡人） 金 _____ 円

(3) 支払済中間前払金額及び部分払金額
（債権譲渡人） 金 _____ 円

(4) 出来高（ % ） 金 _____ 円

(5) 契約解除違約金 金 _____ 円

（ (5) = {(1) - (4)} × 10% ）

(6) 債権譲渡額 金 _____ 円

（ (6) = (4) - (2) - (3) - (5) ）

工事代金請求書

年 月 日

（発注者） 御中

所在地
（債権譲受人） 名称
代表者職氏名

実印

年 月 日付けの債権譲渡承諾書に係る工事代金債権について下記のとおり
請求します。

記

1 請求金額

金 _____ 円

ただし、 _____ の代金として

（内訳）

(1) 請負金額	金 _____ 円
(2) 支払済前払金額	金 _____ 円
(3) 支払済中間前払金額及び部分払金額	金 _____ 円
(4) 履行遅滞の場合における損害金等	金 _____ 円
(5) 今回請求金額	金 _____ 円

$$(5) = (1) - (2) - (3) - (4)$$

2 債権譲渡の承諾を受けた工事請負契約の内容

(1) 承諾番号 _____
(2) 工事件名 _____
(3) 請負者（債権譲渡人） _____